

春の菊池さん

2024

第67号



菊池寛記念館コレクション展

第四次新思潮の青春



第四次新思潮のメンバー、菊池寛、芥川龍之介、成瀬正一、松岡譲、久米正雄

(画像は『まんがで知ろう！ 高松市が生んだ文豪 菊池寛』より)

期間…令和6年4月9日(火)～6月16日(日)
場所…菊池寛記念館
料金…研究閲覧室は無料、常設展示室は要入館料

✍️ 第四次新思潮とは？

『新思潮』とは、東京帝国大学（現・東京大学）の学生を中心に継承・刊行された文芸雑誌です。明治40（1907）年に小山内薫が創刊し、谷崎潤一郎（第二次）、川端康成（第六次）、吉行淳之介（第十四次）、阿川弘之、曾野綾子、有吉佐和子（第十五次）など多くの作家を送り出しました。その中でも、第三次および第四次の『新思潮』に参加した菊池寛、芥川龍之介、久米正雄などは、「新思潮派」と呼ばれています。

第四次『新思潮』は夏目漱石を第一の読者として作られ、約1年、全11冊という短期間の刊行ではありましたが、芥川龍之介の「鼻」、菊池寛の「父帰る」などの名作が生まれました。

本展では、第四次新思潮に参加した5人のメンバーの青春の日々をたどります。



おしらせ

※行事内容は一部変更になる場合があります。



古本まつり

下記の期間中に御入館いただいた方は、お好きな古本を 10 冊お持ち帰りいただけます。思わぬ掘り出し物があるかも!? 在庫がなくなり次第、終了となるので、お早めに。

＊期間：4月27日（土）～5月12日（日） ＊会場：菊池寛記念館 常設展示室 **要入館料**

令和6年度 文芸講座

源氏物語はなぜ千年も読み継がれてきたの？その魅力に迫る

講師：田中智子（神戸大学大学院人文学研究科専任講師）

＊日時：6月1日（土）13時30分～15時 ＊定員：先着60名

＊会場：サンクリスタル高松3階 第一集会室 ＊受講料無料、申込不要



観覧料（入館料）改定のお知らせ

令和6年4月1日（月）から観覧料（入館料）を次のとおり改定しています。

区分	現行	改定後
一般	200円（160円）	300 円（240円）
大学生	150円（120円）	200 円（160円）

※（）内は20名以上の団体料金



観覧料（入館料）無料は、高校生以下、65歳以上の方や障害者手帳所持者等で変更ありません。



ファースト、菊池寛

① 菊池寛は第一高等学校（現在の東京大学教養学部）在学時、友人達とゴムマリで野球をして遊んでいました。

投手が松岡譲で捕手が久米正雄、菊池寛は一塁を守っていたそうです。

「僕等のチームは、学校中での強チームで、どの部屋とやってもあまり負けなかった」（「半自叙伝」）と菊池寛は語っています。



春の菊池さん第67号

発行：令和6年4月18日 菊池寛記念館（高松市昭和町一丁目2番20号／087-861-4502）
<https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kyouiku/bunkabu/kikuti/kantop.html>

